

報道機関各位

長岡市DX推進部DX政策課長



デジタルの可能性を探求する2日間  
**モーショングラフィック&メディアアート  
 映像展・トークイベントを開催**  
 長岡市

長岡市は、進化するデジタル技術に対応できる人材の育成と、デジタルアートを通じた地域活性化の取り組みを推進しています。

このたび、デジタルモーショングラフィックの黎明期から活動続けるメディアアーティスト・山本信一氏（長岡造形大学デザイン学科教授）のセレクションで、国内外で活躍する16人以上のクリエイターによるデジタルアート作品約90タイトルの映像展を開催します。また、五島一浩氏と古澤龍氏による「時間」をテーマにした映像作品の上映とトークイベントを開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力くださるようお願いいたします。

ビデオ                      リスニング  
**Video Listening #01**

- |   |       |  |
|---|-------|--|
| 1 | 日 時   | <p>① モーショングラフィック&amp;メディアアート映像展<br/>         10月19日（土）～20日（日） 午前10時30分～午後5時まで</p> <p>② 五島一浩×古澤龍 トークイベント「時間の採集」<br/>         10月19日（土） 午後3時30分～5時まで</p>   |
| 2 | 会 場   | <p>米百俵プレイス ミライエ長岡 ミライエステップ5階<br/>         （新潟県長岡市大手通2-3-10）</p>  |
| 3 | 内 容   | <p>① モーショングラフィック&amp;メディアアート映像展<br/>         国内外のミュージックビデオやオーディオビジュアルライブ、文化庁メディア芸術祭で紹介されたアート作品など、ポップなものからアート性の高い作品までを幅広く上映します。</p> <p>② 五島一浩×古澤龍 トークイベント「時間の採集」<br/>         モデレーター：山本信一<br/>         「時間」をテーマにした作品で活動する作家をお招きし、制作プロセスや作品に込めた意図、「時間」に対する考え方などを深く掘り下げ、参加者との質疑応答も交えながら、「時間」の持つ多様な側面についてトークセッションします。（先着100人）<br/>         申し込みは専用フォームから <a href="https://logofom.jp/form/P5EF/742156">https://logofom.jp/form/P5EF/742156</a></p> |
| 4 | そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像展は出入り自由</li> <li>・参加費無料</li> <li>・ティザー動画（長岡市公式Youtube）<a href="https://youtu.be/YGEB8-ve6ZQ">https://youtu.be/YGEB8-ve6ZQ</a></li> </ul>   |

問い合わせ：DX政策課 穂刈  
 TEL 0258-39-2205

# トークイベント「時間の採集」

## 出演者プロフィール



### 五島 一浩（ごしま かずひろ）氏 映像作家

京都工芸繊維大学卒業。現在は長岡造形大学の非常勤講師を務める。90年代よりTVゲーム制作に参加し、『L.S.D』、『東京惑星プラネトキオ』等、カルト的ゲームの映像・グラフィックスを担当。1999年よりフリーランスの映像作家・メディアクリエイターとして活動する。代表作には特殊立体映像作品『SHADOWLAND』、コマを使わない動画システムによる『これは映画ではないらしい』等がある。2020年には、アーツ千代田3331において初の大規模個展『画家の不在』を開催した。



### 古澤 龍（ふるさわ りゅう）氏 アーティスト

現在、東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程映像メディア学専攻在籍。主な展示会に『Mid Tide』、『ICC Annual 2024: Faraway, so close』がある。2023年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業にて助成採択され制作された『Mid Tide #3』がアルス・エレクトロニカ賞にてHonorable mentionを受賞。2015年からはアーティストコレクティブ「ヨフ」としても活動している。

## モデレーター



### 山本 信一（やまもと しんいち）氏

メディアアーティスト、クリエイティブディレクター、長岡造形大学デザイン学科教授

スクリーンメディアだけでなく、オーディオビジュアルパフォーマンス、都市回遊型XR、公共空間でのインスタレーション等、映像を都市や空間に拡張する作品を多く手掛けており、2021年に発表した「新宿東口の猫」では独特のユーモアで国内外から多くの反響を得て、都市の屋外映像を使ったソーシャルデザインとして17の賞を受賞した。

# Video Listening

Digital Arts and Visual Media Landscapes

Corey Fuller  
Daisuke Fujikawa  
ETERNAL Art Space  
Kazuhiro Goshima  
Kerim Safa  
Koichiro Tsujikawa  
Masayuki Azegami  
Milian Mori  
MUTEK.JP  
Ryu Furusawa  
Seiichi Sega  
scuy(v0id) Hiroki Okamoto

Sumito Sakakibara  
Synichi Yamamoto  
Toru Izumida  
Yuki Kawakami



2024 10/19 sat – 10/20 sun 10:30–17:00 ミライエ長岡 5F ミライエステップ

入場  
無料

モーショングラフィックの先駆者である長岡造形大学デザイン学科の山本信一教授が選んだ国内外のデジタルアート作品を上映します。

2024 10/19 sat 15:30–17:00

スペシャルトーク

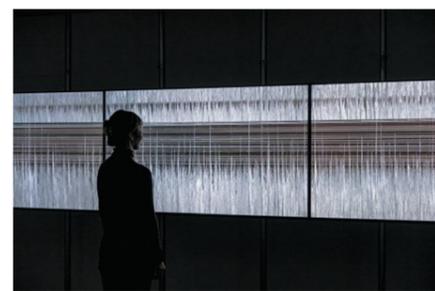
時間の採集

五島一浩 × 古澤龍

「VideoListening#01」のスペシャルアーティストトークとして、五島一浩と古澤龍による「時間」をテーマにした映像作品の上映とトークショーを実施します。



スペシャルトークの申込はこちらから  
先着 100名



お問い合わせ：  
長岡市 DX 推進部 DX 政策課  
Tel. 0258-39-2205